

# 熱中症情報

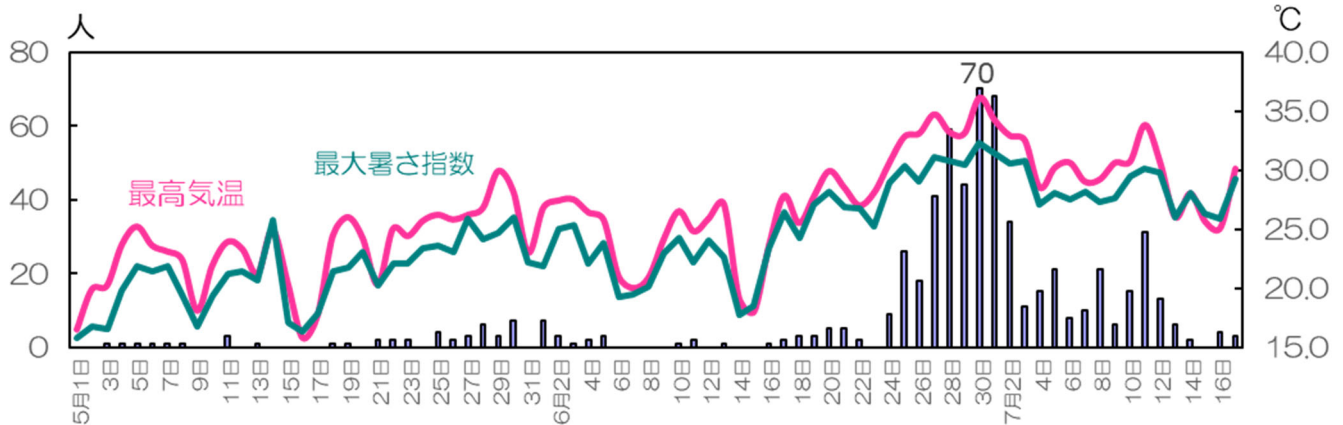
## <搬送数>

令和4年5月1日～7月17日までの搬送数（消防局データを使用）は、計619人（5月43人、6月308人、7月268人）でした。6月30日は最高気温36.1℃で、搬送数が70人/日でした。7月13日以降は、雨の日が多く、気温も低めとなり、搬送数も10人/日以下で、減少しています。

熱中症は、暑い日が続いてくると多発する傾向があり、気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。

身体がまだ暑さに慣れていない時期は、蒸し暑い日、風が弱い日、日差しが強い日等に増加する傾向がありますので、こまめに水分を取り、室温を適切に調節し、暑さから身を守りましょう。

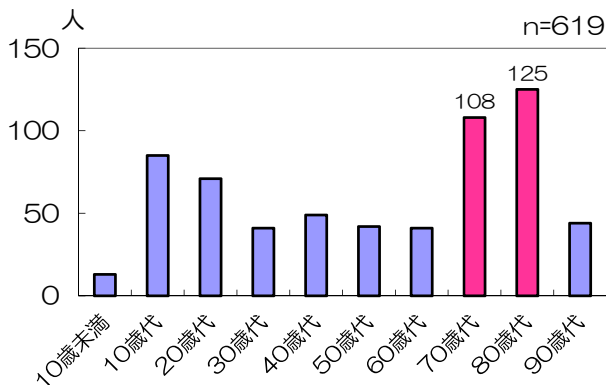
昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大の防止とともに、熱中症予防にも心掛けましょう。



**暑さ指数とは？**人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「環境省熱中症予防情報サイト [暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

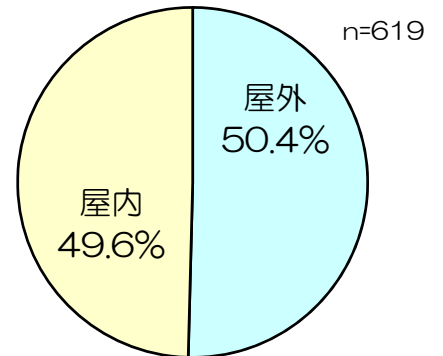
## <年齢別>

80歳代が125人(20.2%)で最も多く、次に70歳代108人(17.4%)でした。



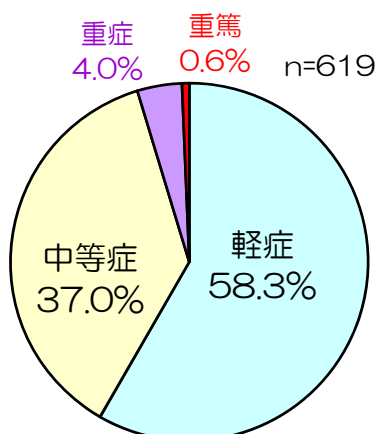
## <発生場所>

屋外50.4%、屋内49.6%で、屋外での発生が多くなっています。

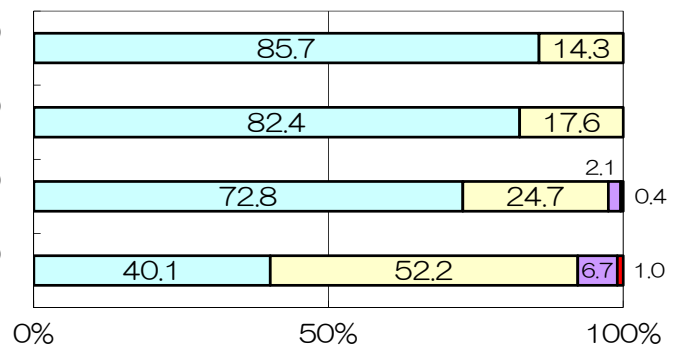


## <重症度>

軽症58.3%、中等症37.0%、重症4.0%、重篤0.6%でした。高齢者(65歳以上)は中等症以上の割合が59.9%で、高齢者に重症化する傾向がみられます。



乳幼児(0~6歳) n=7  
 少年(7~17歳) n=74  
 成人(18~64歳) n=239  
 高齢者(65歳以上) n=299



□軽症 □中等症 □重症 ■重篤